

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経歴
日本事情A	～218	1年生・前期	2単位	選択	進藤康子	
履修の前提条件		近現代の日本の歴史と文化に関心を持っていること。				
授業概要 (Course Outline)						
江戸時代後期・明治時代以降から近現代までの日本の歴史と文化の変容とその特色をなるべく平易に解説する。特に明治維新後の激変を学ぶ。また第一次・第二次世界大戦後の大きな歴史の転換を軸として、日本の実情と事跡の特徴の基本的な理解を深める。日本の文化歴史を支えた根本理念をも学習し、戦後の日本の再出発と平和への願いを解説する。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
生涯学習力 Lifelong Learning					○	
到達目標 (Objectives)						
1, 江戸時代後期・明治維新から近現代までの日本の歴史と文化の変容とその特徴について理解できるようになる。2, 日本の文化歴史の根本理念を学習し、戦後の日本の再出発と平和への願い、世界の貢献などを理解できるようになる。						
事前学習の内容	配布プリントを読んで、次の授業の概要を把握し質問などを明確にする。					
事後学習の内容	配布プリント、ノートなどを読んで、授業の内容について理解を深めておくこと。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
授業の内容に関して受講者が自分でテーマを設定して、レポートを作成する。対話型の授業を心がける。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
授業終了後に質問、連絡問い合わせなど随時受け付ける。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション・授業の方針、概観説明 プリント1		
第2回	江戸時代後期の社会と文化(西鶴・北斎・葛屋)プリント2		
第3回	近代国家の形成と国際関係の推移(黒船来航と倒幕)プリント3		
第4回	近代思想のいぶき(伊能忠敬・福沢諭吉)プリント4		
第5回	明治維新と社会の変化(岩倉使節団・津田梅子・伊藤博文)プリント5		
第6回	文明開化の暮らしと文化(欧米文化と日本文化)プリント6(第一回ミニテスト)		
第7回	近代国家の成立と対外関係の変化(欧米と肩を並べる国づくり)プリント7		
第8回	近代産業の発展と展開(日本の生糸・製鉄)プリント8		
第9回	明治から大正デモクラシーへ プリント9		
第10回	多彩な学問と近代文化の発展(モダンな都市作り)プリント10		
第11回	第一次世界大戦と日本(国際協調外交)プリント11		
第12回	第二次世界大戦と日本(連合軍の動向と敗戦・高度経済成長)プリント12		
第13回	日本の再出発と平和への願い プリント13 (第二回ミニテスト)		
第14回	自分でテーマを見つけレポートを作成する		
第15回	レポートを発表する。ディスカッションする。質問。		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
プリントを配布する			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
人物・遺産でさぐる『日本の歴史』	古川清行	小峰書店	
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
成績評価方法 試験80% 平常点20%(受講態度・レポート提出・ディスカッションなど)			